

春季特別企画

2025.3.22|土| - 4.13|日|

休館日=4/8

もじ・もじ・ ファクトリー

m o j i . m o j i . f a c t o r y

●みんなであそぶプログラム

会期中毎日 | 10:00-16:00 (11:30-12:30はお休み)

「もじ」をテーマにしたあそびがいっぱい!
「もじだけ」「もじ〇ばけ」
「ハンティングワード NEO」など

●あつまるあそぶプログラム

土・日曜 | 14:00-14:45 (30分前受付)

「モジツリ」
立体のもじをつかってみんなでつなげます

●たべるあそぶプログラム

日曜日 | 11:00-12:00 (30分前受付、抽選6組)

「よむ」
よんでなにかをつくります!?

○詳しくは、館内の当日案内をご覧ください。プログラムは予告なく変更することがあります。

愛知県児童総合センター



〒480-1342
愛知県長久手市茨ヶ畑間乙1533-1
TEL / 0561-63-1110
E-mail / info@acc-aichi.org
https://www.acc-aichi.org/

開館時間 / 9:00-17:00
入場料 / 中学生以下無料、その他300円

休館日 / 3月=4、11、18日
4月=8、15、22、30日
5月=7、13、20、27日
6月=3、10、17、24日



公共交通 地下鉄東山線「藤が丘」、愛知環状鉄道「八草」から 車で… 東名高速・日進JCT経由名古屋瀬戸道路長久手ICから
機関で… リニモ「愛・地球博記念公園」駅下車 足助方面すぐ(愛・地球博記念公園 北1駐車場利用)

愛知県児童総合センター | 春季特別企画 |



m o j i . m o j i .

もじ・もじ・

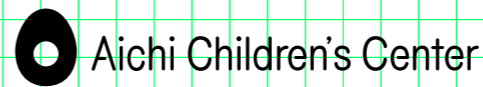
ファクトリー

f a c t o r y

「もじ」とは「ことば」の意味や音を伝えたり残したりするために、線や点を使って見えるかたちにした記号のことです。世界中の国や地域ではいろいろな種類の「もじ」が使われています。日本でも「ひらがな」「カタカナ」「漢字」のほかに「アルファベット」も使います。それぞれの文字はまったく違うかたちをしています。どちら向きに読むのかも、どんな音で読むのかもわからない文字もあります。それでも、なにかを伝えようとしていることはわかります。愛知県児童総合センターに登場する『もじ・もじ・ファクトリー』は、今までにない「もじ」をつくったり、「もじ」の新しい書き方を発明したり、動く文字をみてみたりする、「もじ」がテーマのあそびの工場です。あそびに参加して、「もじ・もじ・ファクトリー」をいろいろな「もじ」でいっぱいにしてください。

2025.3.22|土| - 4.13|日| 愛知県児童総合センター(愛・地球博記念公園内)

時間=10:00-16:00(開館時間は9:00-17:00)
休館日=4月8日 入場料=中学生以下無料、その他300円
主催=愛知県児童総合センター(公益財団法人愛知公園協会)



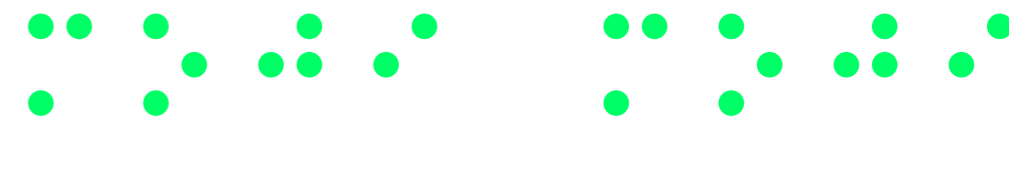
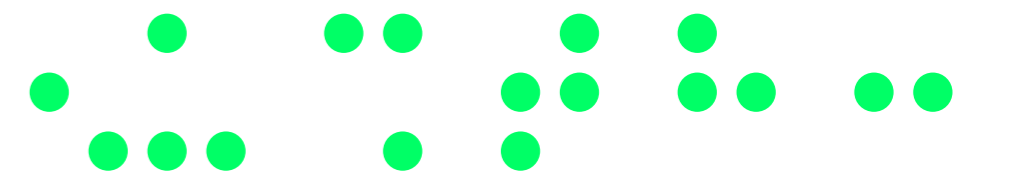
子どもとおとな、ドキドキ発見!

ACC

Aichi Children's Center

レター

News Letter vol. 51
2025 春



春季特別企画

もじ・もじ・
ファクトリー

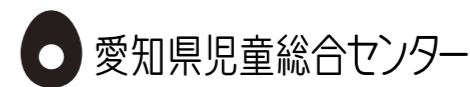
特集 |

あいちこども
クリエイティブクラブ(ACCC)

特集 |

冬季特別企画
はんたいのはんたいのはんたい

子育てのおはなし 第51話
募集とお知らせ



あいちこども クリエイティブ クラブ (ACCC)

あいちこどもクリエイティブクラブ (ACCC) とは
いつもとはちょっと違ったあそびをとおして、創造性と
コミュニケーションを深めていく小学生以上を対象と
したクラブ活動です。年間4回、事前に参加者を募り、
いろいろな年齢の子どもたちがいっしょになって、じっ
くりあそびを楽しみます。

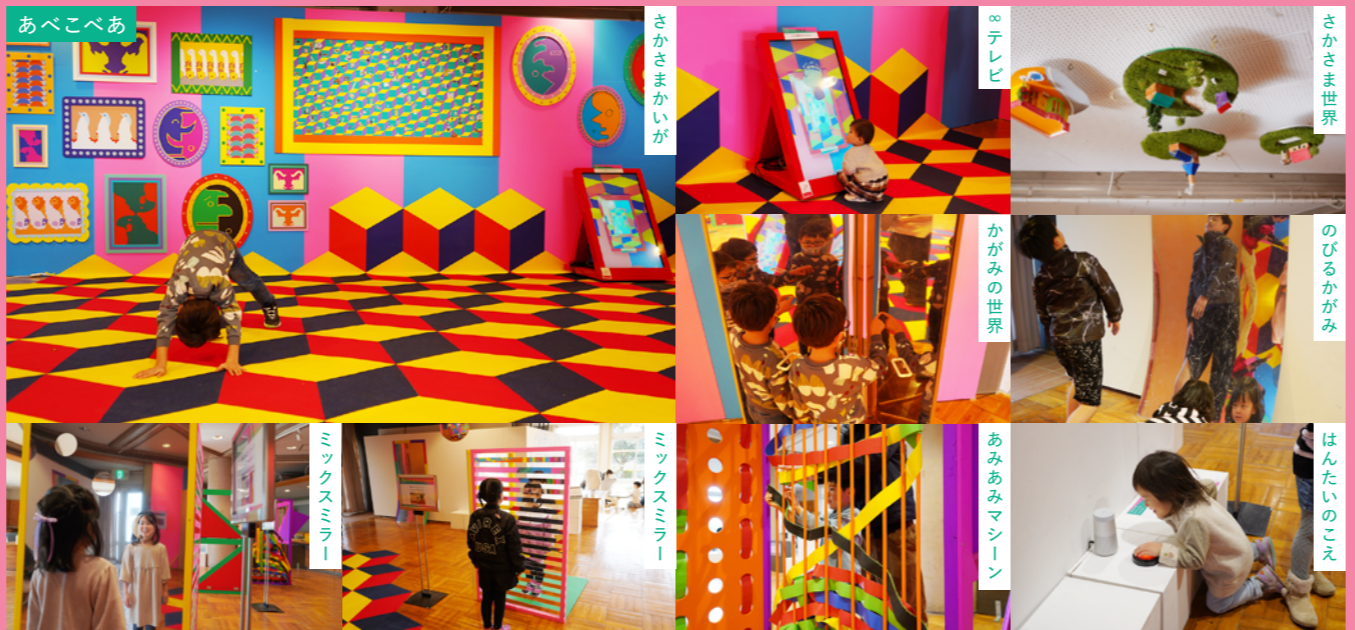
本年度は「あなをほる」「汗かくメディアツアー」「土を焼く」「あそび実験室 フシギ文字せいさくしよ」
を行いました。
今回は、第2回目に実施した「汗かくメディアツアー」を紹介します。愛知県児童総合センターでは
毎年、「アートと遊びと子どもをつなぐメディアプログラム『汗かくメディア』」と題し、子どもたちの
創造力を刺激する新しいあそびを全国公募し、選出された3作品を公開展示しています。
「汗かくメディアツアー」では、本年度に選ばれた3作品を作者と交流しながら体験しました。

作品1	「おばけの『びーぶーぼわ』」小宮加容子さんと細谷多聞さんの作品
	ビニール製の袋を「おばけ」に見立てて、空気を集めて つくり出したり、上に飛び込んだり、自分の体に巻きつ けたら「おばけ」がしぼんで逃げ出したりなど、からだ全 体を使って夢中で遊びました。
作品2	「あみだま」内藤光穂さんの作品
	いろいろな素材のひもを好きなだけ編んでつなげます。 会期中参加したみんなが編んでつなげていった「あみだ ま」は少しずつ静かに大きくなりました。編むことの楽し さや不思議さ、素材の違いなどを感じながら、静かな 空間の中、自分のペースで楽しみました。
作品3	「Translate a passage」森田明日香さんと山岸奏大さんの作品
	一本の道の上をゆっくり歩いたり、すばやく駆け抜けた りすると、その道を行き来する自身の体の動きが文字 へと変換され、モニターに映し出されます。どんな動き がどんな文字になるのか試したり、自分と他の人どで変 換される文字の違いを探ったりするなど、気づいたこと も含めてさまざまな遊び方を体験しました。

3つの作品を楽しんだ後は、2008汗かくメディア受賞作
品、呂ひろしさんの「数の顔写真」で遊びました。256分割
した顔の写真を8段階の濃淡で分類し、数の表に置き換
えます。表の通りに濃淡の違うチップを並べて、誰の顔の
写真が出来るか、グループに分かれて挑戦しました。

今回の汗かくメディアツアーでは、作品ごとに違うメディアによって、
さまざまなあそびが生まれ、新しい気づきや驚きの体験につながりました。

ACCCは内容により日数や対象年齢が変わってきますが、参加者の小学生から高校生まで異
年齢の子どもたちが、親やスタッフなどの大人たちと、普段生活している学校や家族・近所では
ないところで体験するさまざまなあそびは、子どもたちにとって、新しい発見につながっていくか
もしれません。来年度もACCCの活動を予定しています。活動をとおしてたくさんの方々に
お会いできることを楽しみにしています。ぜひご参加ください。



いろいろなものがあべこべになった不思議な部屋で遊びました。

「冬季特別企画」

はんたいの のりきふお いぢりぢり

私たちの世界には、たくさん「はんたい」があります。
前と後ろ、左と右、現実と想像、
「はんたい」だと思っていたものも、
見方を変えると「はんたいのはんたい」かもしれない。
大人も子どもも、頭をひねらせながら、
「はんたい」の世界を楽しみました。



令和6年冬季特別企画として実施しました。



きのこのき
土の粘土できのこをつかって、大きな
きのこにさかさまに飾る遊びです。



ヘンテコマンション
床と壁が入れ替わるヘンテコな
マンションをつかって飾ります。



あべこべ探偵
いつもはんたいのことばかりしている、
ふしぎなあべこべ探偵を探しに行きます。



アベコデー
ぼうしがひげで、くつしたがぼうし?!
さかさまにみつけて遊びました。



●あつまるあそびプログラム
はんがたい
凹版プレス機を使って凸凹を楽しみました。



●たべるあそびプログラム
●特別プログラム
野村実里さんの「ドッチこっちスクラッチ」



冷たいシェイクのはんたいは？
あたたかいシェイクをつくりました。
透明な板の向こう側は何が見える？
はんたい側から見ると見え方がわかるつくるあそびです。

子育ての おはなし

臨床心理士
後藤 かをり

第51話

実況中継のススメ

募集と お知らせ

あそびワンダーブック

愛知県児童総合センターでは、実践してきた
たくさんのおあそびのプログラムから、もういち
ど紹介したいプログラムを「あそびワンダー
ブック」というかたちで、動画配信でご紹介
しています。
どのあそびも年齢に関係なく子ども大人も
一緒に楽しむことができるものをセレクトし
てみました。児童館や子育て支援施設など
の遊びのヒントとしてもぜひご利用ください。
詳細はHPをご覧ください。

Instagram [acc_aichi] 更新中

愛知県児童総合センターではInstagramにて、
みんなであそびプログラム「発見!あそびの
基地」や特別企画、親子であそぶ「トコトコ
プログラム」、中学生プログラム、移動児童館
など、日々の活動の様子を紹介したり、あそび
のプログラムへの参加申込についてお知らせ
しています。



Instagramアカウント (acc_aichi) は
こちらから

近頃、世の中あんまり楽しそう
じゃないなあと感じる小さい子ども
たちが気になります。私という見知
らぬおばあさんが同じ空間にいる
から無理ないかもしれませんが。
新しいお母さん方も「こんな小さ
い子どもとどうやって遊んでいいか
分からない」と言われることがあり
ます。
生まれて間もない小さい子どもに
大切なことは、誰かと(多くの場合、
お世話してくれる大人)と気持ちを
通じ合わせることで、そのことを楽し
い!と感じることだと思います。
そのために、とても簡単なことが
あります。子どものやっていること、
感じていそうなことを実況中継する
のです。「いま、あくびをしました」

「何が気に入らないのか、泣き止ま
しません」…。何か特別なおもちゃや、
気の利いた言葉かけをする必要は
ありません。今の様子を、できれば
穏やかなトーンで話すのです。子
どもたちは、自分に関心を持ってく
れる大人がいること、自分の感じて
いること(ちょっと外れても結構)を
一緒に感じてくれることを感じてい
きます。それがとても大切なことだ
と思います。
この実況中継は、自分の状態に
も使えます。「なんで泣き止まない
のか、私は困っています」「イライラ
してきました」…。自分の気持ちを
言葉に出してみることもとても意味
あることだと思います。

親子であそぶ 「トコトコプログラム」

「大人がたのしいとこどもはうれしい」を合言
葉に、1〜3歳のこどもとお父さん・お母さん
や保護者が「一緒に」楽しむプログラムです。
わくわくするような感覚的なあそびを中心に、
いろいろなあそびを親子で体験します。

日時: 3/5 (水) 「つつむあそび」
3/12 (水) 「えのぐであそび」
対象: 1〜3歳の未就園の子どもの保護者
申込: 前日14時よりWEBフォームにて受付
「えのぐであそび」は事前受付・抽選を行います。
詳細はHP・Instagramをご覧ください。



つつむあそび



えのぐであそび

たまりばー中高生世代の基地ー

対象: 中学生・高校生などの中高生世代



●中高生ラボ

ボードゲームやカードゲーム、本や楽器などを
楽しみながら、思うままに過ごせます。

日時: 毎週金・土曜日13:30-17:00 随時受付



●中高生アナログカフェ

約200種類のボードゲームやカードゲームで
遊ぶことができます。グループでも1人でもOK!
好きなゲームを楽しんでください。

日時: 毎月第3日曜日 9:30-11:30

◎春休みには 特別なプログラムも!?

最新情報は「たまりばーInstagram」
からcheck!



※プログラムは予告なく変更・中止する場合があります。詳しくはHPをご覧ください。